

平成 28 年（2016 年）6 月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（4 日目）

平成 28 年 6 月 17 日（金）

※ 1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	高 良 正 幸 (新 風 会) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 福祉行政について 2 スポーツ健康行政について 3 公園行政について	戦傷病者・戦没者遺族等の援護について (1) 援護の目的と内容(名称)について伺う (2) 今回は、第 10 回目の特別弔慰金となるが、その主旨と内容（支給対象者と支給順位等）を伺う ひやみかち なはウォークについて (1) 第 2 次那覇市教育振興基本計画にも取り上げられているこの事業の趣旨を伺う (2) 第 1 回目からのコースの内容と経緯を伺う (3) 評価と今後の課題について伺う 小禄の森口公園について (1) 森口公園の進捗状況について伺う (2) 殿庭（トゥヌ）の北側の崖の防護柵がまだ仮設の状況である。今後の対策を伺う (3) かにまん御嶽前広場のトイレ設置について伺う (4) 小禄小学校の通学路にもなっている那覇市道小禄 1 号の進捗状況を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 平成 28 年 6 月 17 日(金)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	宮城 恵美子 (社社市民ネット) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 子どもの貧困状況について 2 就学援助及び生活保護対象者の受給率について 3 義務教育の給食費の無償化について	(1) 食料を買えない経験者、衣料を買えなかった経験者の割合、小学５年生の場合を伺う (2) 過去１年間滞納経験の割合、小学５年生の場合について伺う (3) 滞納によりライフラインを停止された家庭、小学５年生の場合について伺う (4) 貧困層及び非貧困層の給食費の滞納状況は、貧困層では小学１年生 28.8%、５年生 37.6%、中学２年生 29.6%もあり、非貧困層でも、小学１年生 5.8%、５年生 10.8%、中学２年生 9.2%に上る。家計の負担をどう認識するか伺う (5) 子どもの進学意識で、「経済的に受けさせられない」ことの「進学」状況への影響はどのようなものか、また「大学までの教育を受けさせたい保護者の割合」はいくらか伺う (1) 就学援助の認定状況、小学５年生の場合について伺う (2) 生活保護率について全国における沖縄の順位と中核市における本市の順位について伺う 子どもの貧困が厳しい状況が明らかになったことから義務教育の負担軽減は重要な施策ではなかろうか。まず、給食費の無償化から負担軽減に向けるべきではなかろうか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 子どもの権利条約の条例化について	子どもの権利条約は子どもを権利主体として考えている。県計画にも盛り込まれた、本市の見解を伺う
		5 琉球史教育について	琉球史を学び歴史認識を東アジアの人々と共有化を図る必要が高まっている。那覇市は福州市と姉妹都市交流を継続してきている。ところで、福州で活動した琉球人(主に那覇久米、首里人ら)は北京でも行動し、先島分割案が日本から提案された時には断固抗議して李鴻章に撤回を迫った歴史がある。その痕跡が北京、天津にも残されている 5月に「北京琉球人墓復元・保全」を求める活動を行った。今後、学校教育の中で琉球史を教え、深い思考力を学ぶことは重要と考えるが見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 平成 28 年 6 月 17 日(金)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	平 良 識 子 (社社市民ネット)	1 教育行政について	(1) 本市小中学校における教員のメンタルヘルスについて、メンタルヘルス疾患数と全国比較、改善対策について伺う (2) 本市小中学校における教員の正規職員の割合について、正規職員率、全国比較、正規率向上の取り組みについて伺う (3) 放課後子ども教室について、全小学校区設置分の予算が計上されているにもかかわらず、いまだ未設置の小学校区があり、地域によって事業が受けられず不公平が生じている 早期に全小学校区設置が実現できるように未設置校区への開設支援をするべきだ。設置の現状と今後の取り組みについて伺う (4) 子どもの貧困対策における学習支援としてニーズの高い無料塾を、市内 4 地域へ拡大することができないか伺う
		2 健康行政について	(1) 乳がん検診について、検診内容の改善をこれまで何度も提案してきた。視触診を廃止し、その予算をエコーとマンモグラフィー検診へ振り替えて対応するべきだ。見解と今後の取り組みについて伺う (2) 若年性認知症の方の支援について、本市の数及び就労者数、支援体制について伺う
		3 動物愛護行政について	小さな命も命どう宝、優しい社会を目指す那覇市として、犬猫殺処分を減らさなければならない。行政の努力もさることながら、市民の適正飼育のモラル向上が深刻な課題としてあることを踏まえ、動物愛護週間において犬猫殺処分ゼロを目指した市民啓発の市長メッセージを発信することを要望するが見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 平成 28 年 6 月 17 日(金)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	我如古 一 郎 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 防災対策について	(1) 熊本九州地方地震災害の被害状況は、死者 49 人、関連死傷者 1,496 人、家屋被害の全壊 2,252 棟、半壊 2,763 棟、一部損壊 1 万 6,000 棟など、最大避難者 18 万人超といわれている。今回の大震災を受けて、本市の防災対策に活かすことが重要である。対応と見解を問う (2) 今回の震災では避難所の設置と運営が多くの困難を伴い、被災者の苦難をより増幅させた。本市における避難所計画の対応について伺う (3) 災害時に支援を要する要援護者のうち、在宅介護を受けている高齢者、車いすや障がい者の方は何名いるか。そのような方が、実際に福祉避難所の受け入れ対象になるのではないか (4) 避難所の生活環境の整備が、非常に重要である。簡易ベッド・畳・マット・パーテーション・冷暖房・仮設トイレ・仮設風呂・テレビ、ラジオなどの整備を政府は通知している。このような対応が、本市の災害対応で計画されているのか (5) 仮設住宅など 2 次避難所で最も重要なのは、被災者の要求の反映、コミュニティの維持が求められている。どのように検討しているか (6) 被災宅地危険度判定士の役割と位置づけと熊本派遣の状況について問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 那覇市密集住宅市街地再生方針について 3 ごみ行政について	(1) この密集市街地再生方針を定めた趣旨と目的、最大の課題について問う (2) 消防局が策定した活動困難地域では、どのような問題が指摘されているか (1) 本市のごみの総量はどのように推移しているか。また、減量目標・計画に照らしてどうなっているか (2) 清明祭後、識名霊園から回収したごみの総量と組成について問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（４日目） 平成 28 年 6 月 17 日(金)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	大 城 幼 子 (公 明 党)	1 介護福祉について	本年 2 月の川崎市老人ホーム転落死事件を受け、厚生労働省は 3 月に地域支援事業の任意事業として位置付けている介護相談員派遣事業について、未実施の市町村に対して実施を働きかけるように都道府県に要請した。本市においては、本事業は一般社団法人「市民介護相談員なは」が市から補助金を受けて活動を展開している。事件のあった施設は有料老人ホームであるが、厚労省の調査では虐待認定が最も多いのは特別養護老人ホームとなっている。以下伺う (1) 本市における中核市移行後の虐待件数を伺う (2) 本市には特別養護老人ホームはいくつあるのか。そのなかで今年度、介護相談員を受け入れている特養はいくつか (3) 介護相談員の受け入れを辞めた特養もあるか。それについて本市はどう思うか
		2 障がい者福祉について	(1) 本年 5 月に改正障害者総合支援法が成立した。その意義と改正の主なポイントを伺う (2) 障害者総合支援法による地域生活支援事業は障がい者が自立した日常生活、または社会生活を営むことができるよう各市町村を中心に実施される事業であるが、その事業メニューの中に、屋外で移動が困難な方々に対して行うガイドヘルパー(付き添い)による外出支援がある。本市におけるその対象者及びサービスの内容を伺う

質問方式

総括質問方式
(質問席のみ)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 文化行政について	(1) 文化芸術振興に対する本市の所見と現在の取り組みを伺う (2) 文化振興基金の現状と今後の取り組みについて伺う
		4 保育行政について	認可保育園の新規開設をめぐり近隣住民からの苦情で断念するケースが全国でも問題となっているなかで、昨年は県内中部でも保育園新設が難航していることが分かった 本市においても来年4月開園予定の建設地付近の住民から反対の声が上がっている。以下伺う (1) 認可園までの申請手続きの流れを伺う。また問題となっている計画については、いつ補助金の申請があり、本市が決定したのはいつか (2) 建設補助金の交付決定する際に地域住民の合意が得られているか確認したのか
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（４日目） 平成 28 年 6 月 17 日(金)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	多和田 栄子 (社社市民ネット)	1 環境行政について	砂販売所について 首里石嶺在の砂販売所については、平成 26 年 2 月議会において質問している。しかし、問題解決に至っておらず 2 年が経過している。地域の自治会からも、再度陳情書が提出されている。その事を踏まえ、市としてこれまでどのような是正指導を行ってきたのか伺う
		2 保育行政について	国の子育て支援策によると、保育士のさらなる待遇改善、待機児童 50 万人解消のための受け皿づくりのために多くの保育園開設を急ぐべきであり、保育事業の充実について、より一層拡充すべきであると方針がある。一方、古島地域で反対する声がある。そこで以下伺う (1) 那覇市における待機児童の総数とその現状を伺う (2) 待機児童の計算と算定の基準を伺う (3) 潜在的待機児童について、どのように考えられているか伺う
		3 城北中学校の体育館改築工事について	平成 27 年度に体育館の解体に着手、本体工事平成 28 年度に着手。平成 29 年度に完成する予定と聞いている。工事の進捗状況を伺う
		4 道路事業について	サンエー石嶺食品館に隣接して行われている石嶺 1 号橋架替工事の進捗状況について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 平成 28 年 6 月 17 日(金)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	古 堅 茂 治 (日本共産党)	1 米軍基地問題等について	(1) 私も、基地あるが故の許しがたい凶悪事件の犠牲者と同じヤンバル出身。成人した 3 人の娘がいる。尊い命と夢と希望を抱いていたであろう 20 歳の若い人生を無残にも奪われた犠牲者の無念さ、愛する一人娘を突然失ったご両親の心情を思うと胸が締め付けられる。多くの市民・県民が、強い憤りと深い悲しみ、悔しさで身体を震わせ涙した今回の殺人・強姦致死事件は断じて許すことができない。私たち市民・県民は、基地あるが故の事件・事故で、いつ、だれが犠牲者になるかもしれない、異常な生活を強いられている 1972 年の本土復帰からの米軍関係者（軍人、軍属、家族）による犯罪の検挙状況を問う (2) 県民の命と暮らしを危険にさらし、深い悲しみと苦しみを強いる事態をこれ以上放置することは絶対あってはならない。子や孫が安心して暮らせる平和な沖縄をつくるために、米軍基地あるがゆえの事件・事故を根絶するために、思想信条、保革を超えて、県民が心ひとつに力をあわせて根本的な解決へがんばるときである。6.19 県民大会へ臨む市長の決意を問う (3) 米軍基地は、県民の命と安全を脅かし、県経済発展の最大の阻害要因となっている 2014 年 7 月 1 日現在の政府の経済センサス基礎調査（2016 年 3 月 16 日公表）で、米軍基地返還跡地にできた街「那覇新都心地区」の事業者数、従業者数と、米軍基地時代の年間平均従業者数と比較した雇用効果を問う

質問方式

一問一答方式
(質問席のみ)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 平和行政について 3 健康対策について 4 食物アレルギー対策について	(1) 6月23日は、慰霊の日。悲惨極る沖縄戦、いくさゆーを、二度と再び、繰り返させてはならない 侵略戦争は、県民10数万人、日本国民310万人、アジアの人々2,000万人以上の尊い命を奪った。この痛苦の体験と教訓からつくりだされたのが、世界に誇る反戦平和の日本国憲法第9条である。憲法9条に違反して、戦争への道を突き進む戦争法を廃止させ、立憲主義、民主主義、平和主義をとりもどすことが求められている。戦争法・憲法9条への見解を問う (2) 県内で自治体主催の戦没者追悼式(慰霊祭)の実態と、本市はなぜ主催できないのか理由を問う 茨城県立健康プラザ研究員の栗盛須雅子聖徳大学看護学部教授が2010～14年の5年間について調べたところ、「平均寿命(余命)のうち、介護を受けたり寝たきりになったりせず健康に日常生活を送ることができる期間を示す「健康寿命(余命)」が占める割合は、全国47都道府県で沖縄は男性90.4%で47位、女性は83.7%で46位であることが判明した。「市民一人ひとりが健康づくりに取り組み、健康長寿を実現する～家庭・職場・地域もあなたの健康応援団～」を基本理念とする「健康なは21(第2次)」を策定した本市の取り組みを問う (1) 本市の小学生、中学生の食物アレルギーを有する児童生徒数の実態を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 道路行政・街づくりについて	(2) ピーナッツ(落花生)が原料であることを知らずに、「ジーマミ豆腐」を食べた観光客が急性アレルギー症状で救急搬送される事例が相次いでいるとして県立北部病院臨床研修委員会のフェイスブックで注意を呼び掛けている。本市保健所の生活衛生課がそれに応じてホームページで素早く注意喚起していることを高く評価する。国際観光都市那覇としての対応・取り組みを問う (1) 琉球王国の時代、首里城の(霊的な)北の守りは虎瀬公園がある虎瀬山、東の守りが弁ヶ岳公園のある弁ヶ岳。日の昇る東の方角であり沖縄の聖地である久高島が見える場所、さらに那覇市内最高峰ということもあって、琉球王国の時代から風水上大事な場所とされ熱心な信仰の対象となっていたと言われる。真嘉比川、安里川(金城川)の源流域ともなっている。その弁ヶ岳を通る道路を歴史散歩道整備事業で古都首里にふさわしく整備を行うべきである。取り組みを問う (2) 本市で一番高い弁ヶ岳の周辺は坂道が多く、特に雨天時に子供やお年寄り等の弱者が苦勞している。坂道のすべり止め対策は、担当部局の尽力で整備が促進されているが、未整備道路の整備を急いでほしいとの住民の声が強い。取り組みを問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長